

(様式1)

令和4年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 036	提案機関名 県央家畜保健衛生所
要望問題名 スマート畜産に関わる検討	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 現在、IC タグや、各種センサー、モニタリングシステム、ロボット等により、スマート畜産の推進が行われている。 畜産経営の安定化や、より一層の経営強化のためにも、上記システムやA I 技術を駆使することで、当県の規模に見合った、新しいスタイルでの技術開発に取り組んでいただきたい。	
ken 解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	畜産技術センター	担当部所	企画指導部企画研究課
対応区分	①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 <input checked="" type="checkbox"/> ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合) 環境制御型養豚施設の実証試験（令和元～3年度）		
対応の内容等	県内の生産者において、様々なスマート畜産技術が導入されています。当所では、環境制御養豚施設の実証試験において、NTT 東日本神奈川事業部、養豚協会と共同で温湿度センサー、監視カメラを導入してデータ収集に利用しています。また、同時にウインドレス豚舎における耐久性について検証しており、これら機材が十分な耐久性があることを確認しています。 スマート畜産技術は、当所が単独で開発することは困難であることから、今後開発に関する技術力のある機関との共同研究について検討していきます。 すでに生産者からの具体的な要望等があれば情報提供をお願いします。		
解決予定年限	<input checked="" type="checkbox"/> ①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			